

人間と社会	国際社会福祉論
-------	---------

[講義] 第1学年 後期 選択 2単位

《担当者名》○志水 幸 花淵 馨也 中田 雅美 常田 美和

【概 要】

この講義では、国際社会福祉に関する up to date な課題について解説する。

【学習目標】

この講義では、グローバルな視点から国際社会福祉に関する課題を捉える枠組みの習得を目標とする。具体的には、個々に生起する課題について、世界システムとの関連で理解・説明できる能力を習得することである。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	講義計画の概要説明、自己学習の進め方等。	志水、花淵、中田、常田
2	国際社会福祉の理論的枠組みⅠ	国際社会福祉の意義と課題	志水
3	国際社会福祉の理論的枠組みⅡ	国際社会福祉と人間開発計画	志水
4	国際社会福祉の前提条件Ⅰ	グローバル化と国際援助	花淵
5	国際社会福祉の前提条件Ⅱ	アフリカ問題と援助の失敗	花淵
6	国際社会福祉の前提条件Ⅲ	国際援助の新たな方法	花淵
7	国際社会福祉の課題Ⅰ	持続可能な開発目標(SDGs)Ⅰ	常田
8	国際社会福祉の課題Ⅱ	持続可能な開発目標(SDGs)Ⅱ	常田
9	国際社会福祉の主体Ⅲ	札幌における外国人医療サポートの現状と課題	志水 芦田科子（特別講師）
10	国際社会福祉の課題Ⅲ	開発途上国のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ	常田
11	国際社会福祉の主体Ⅰ	グローバルという考え方 Think globally, act locally	中田
12	国際社会福祉の主体Ⅱ	国際難民支援活動の現状と課題	中田 富士カネ（特別講師）
13	国際社会福祉の実際Ⅰ	北欧型福祉国家をみる（１） スウェーデンにおける社会福祉	中田 渡辺まどか（特別講師）
14	国際社会福祉の実際Ⅱ	北欧型福祉国家をみる（２） デンマークにおける社会福祉	中田
15	講義の総括	これまでの講義を振り返り、今後の課題を総括する。	志水、花淵、常田、中田

【評価方法】

①講義レポート40%、②試験60%により総合的に評価する。

【備 考】

教科書：特に指定しない。

参考書：①ジェームス・ミッジリィ（京極高宣ほか監訳）：国際社会福祉論．中央法規，1999年．

②岡伸一ほか編：新・世界の社会福祉〔12〕国際社会福祉．旬報社，2020年．

その他：この科目は、教職課程（公民）の教科に関する科目の「法律学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」に該当する。

【学習の準備】

<授業時間外学修>

◆予習（60～90分）：各回のキーワードについて、参考書、関連書、インターネットなどで調べておく。

◆復習（30分～60分）：学習内容を振り返り、記憶の定着をはかる。

その他、新聞やニュースで取り上げられる国際的な保健・医療・福祉問題について興味を持ち、その問題について自分なりに深く考えてみる。問題意識を明確にした上で、授業に積極的に参加すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5